

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	エリート・パフォーマー ソリッド		投球者	徳江 和則		センター	平和島スターボウル	
RG	2.550	△RG	0.030	●ピン	★PAP	✕CG	■ バランスホール	

テストボール：エリート・パフォーマーソリッド

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
☒ 箱出し状態
☐ 加工
☐ ペーパー
☐ ポリッシュ

番

研磨剤

比較対照ボール：エリート・パフォーマーハイブリッド

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
☒ 箱出し状態
☐ 加工
☐ ペーパー
☐ ポリッシュ

番

研磨剤



ELITE PERFORMER SOLID

Cover	Type	Core	RG ^(15P)	ΔRG ^(15P)	INTΔRG ^(15P)	Surface	Skid	Backend	Hook
PA 65	SOLID	INNOVATIVE	2.55	0.035	0.000	POWER EDGE	70	71	74

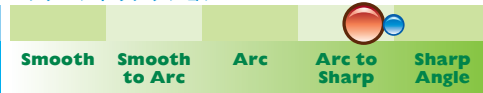
ELITE PERFORMER HYBRID

Cover	Type	Core	RG ^(15P)	ΔRG ^(15P)	INTΔRG ^(15P)	Surface	Skid	Backend	Hook
PA 65	HYBRID	INNOVATIVE	2.55	0.035	0.000	POWER EDGE	72	73	72

レーンコンディション



バックエンドリアクション



レンジス



ボールの評価

ELITE PERFORMERシリーズ第3弾となる本作は、PRO-amが掲げる「ボウリングを、もっとシンプルに、もっと身近に」という開発思想を具現化したモデルです。Pa 65 Solid Reactiveを採用し、シリーズ最高レベルの安定感を追求。

変化するレーンでも扱いやすい性能を狙っています。

Pa 65 Solid Reactiveは、ソリッド特有の落ち着いた摩擦反応により、手前で過度に動くことを抑えながら中盤まで安定してボールを運べるカバーです。実際に投球すると、手前から中盤は非常に素直に進み、ブレイクポイント付近から適度に向きを変えるため、重さを感じさせない扱いやすい動きが得られます。Innovative Coreが直進性とバックエンドのキレをバランス良く生み出している点も特徴です。ソリッドカバーの安定感に対して、コアが適度な方向転換を加えることで、扱いやすさとキレを両立しています。

特に中盤から後半のコンディションでは、レーン外側を長く使いながらポケットへ向かわせやすく、無理にインサイドへ移動する必要を抑えられます。オイル変化に対してもリアクションを読みやすく、ライン調整がしやすいことから、コンディションに合わせて投球をシンプルに組み立てられるでしょう。それこそが、PRO-amが掲げる「他ブランドでは埋めきれない領域を埋める」という考え方を、実戦的な性能としてABSが表現した部分です。

ELITE PERFORMER SOLIDは、強いフック性能だけを追求するのではなく、安定して投げられることに価値を置いた実戦型モデルです。オイルへの対応力、手前の安定感、バックエンドの適度なキレをバランス良く備え、中盤から後半で安心してラインを選ぶ基準球として活躍する一球と言えます。

特記事項

Solid素材はまったく、緩やかに曲がるという概念は、一昔前の話。
しっかりスキッドし、バランスよいキャッチ、切れをも感じる最先端のSolid素材をぜひお試しください。